

「交流サロン」だより in 大仙 9月号

2024

マイフォト一言

暑さ寒さも彼岸まで!!まさに、言葉通りに季節が移り始めました、いつまでこの暑さが続くだろうと心が折れかかってた矢先、彼岸を境に日々の最低気温が二十℃を切るようになり、やっと暑さから解放されたと思ったら、どっと疲れが出てしまいました!!しかしながら、この季節の変わり目に、大雨が降り続いて刈取まじかの稲穂に被害が出たところもあるようです。さらには能登半島で豪雨による大規模災害が発生してしまい、年の初めの大震災の爪痕もまだ色濃く残っている被災地に覆いかぶさる二重苦、心よりお見舞い申し上げます。最近なんとなく過疎地域が疎んじられているのではと疑いたくなる施策が多いのではと・・・自然の大災害に立ち向かう術はないにしろ、復旧復興だけでも即急に行って、過疎化の助長を抑制してもらいたいと願わずにはいられません。余談ですが、一つの例として、令和四年に起きた大洪水で不通となっている米坂線(山形・米沢と新潟・坂町)は、いまだに復旧工事に着手していない現状、必ず出てくるのが廃線の二文字、確かに険しい山岳地帯を横断する鉄道ですが、かつては仙台と新潟を結ぶ急行「あさひ」が往来していた。

マイフォト「宝の山!!」

令和6年9月16日 6:46頃



黄金色、一色となった仙北平野これ皆、稲穂、言わば宝の山!!この季節になるといつも思います!!秋田は昔から恵まれているなど、しかしその裏側を覗いてみると高齢化と後継者がいないことにより、法人化やグループ化などで、かろうじて耕作放棄を防いでいると言うのが現状では・・・豊かな秋田が永遠に続くことを願っています。この地に住んでいると、良いところに気が付かないかもしれませんが、よく見るとたくさんありますよ!!

今日の「交流サロン」から

大雨の影響で「はびねす大仙」が自主避難所となつたため「サロン」の開催が危ぶまれましたが前日の夜に解除され当日は通常通り行うことが出来ました。さて、今月と来月は、十二月七日(土)に秋田県児童会館で開催される「であいのこんさあと」で来場の皆様方にお配りするパンジーの鉢植えに添える「であいの花」の制作を予定していました。早速取り掛かり今日は、三十個程が出来、まずまずの仕上がりでした。

10月の交流サロン
10月27日(日)
「であいの花」作り
午前10時〜午後3時迄
「であいのこんさあと」で
提供される鉢に添えます。
「ご協力をお願いします!!」

ところ：はびねす大仙
参加費三百円
小学生以下無料



真剣な制作の様子!!



本日の定食「だまこ鍋」!!

来月と合わせて、一人十個程を作ってもらう計画です。いずれにしても何か目標や目的があって行動すると言うことは、励みにもなるし作業している人が皆楽しそうなことです。真剣さが伝わって来る様子は、いかがですか、次回もこの調子で頑張ってくださいませしよう!!

【本日のメニュー】

主菜：だまこ鍋(昆布と鶏肉の出汁・ゴボウ・糸コン・せり・舞茸) 副菜：アボガドと鮪の柚子胡椒白だし漬(アボガド・鮪・大葉) お新香(茄子の浅漬・メロン子の塩漬・大葉入り) 「だまこ」と言えば新米と相場が決まっていますが、間に合わなくて季節ものとして食べていただきました。ご飯の炊き方に工夫をしたことと丸めてから表面を焼いたことで何とかごまかすことが出来、美味しくいただきました。

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇・九六七・〇二八五二